



～生まれ変わる

瀬長島、隣の楽園

安藤財務部長

兼城社長

宜保豊見城市長

### 瀬長島について

財務部では、地域と連携して国有財産の活用を図り、地域の活性化につなげる取組みを行っています。平成22年3月及び25年6月に瀬長島の国有地（約1万4千㎡）を「瀬長島観光拠点整備計画」事業用地として豊見城市に売却しました。観光拠点として生まれ変わる瀬長島について、宜保晴毅豊見城市長と琉球温泉瀬長島ホテルを建設・運営するWBFリゾート沖縄株式会社兼城賢成社長にお話を伺いました。

【安藤財務部長】瀬長島はどういう場所なのでしょう。

【宜保豊見城市長】瀬長島は豊見城発祥の地と言われています。戦後、米軍に接収され陸続きとなり、その後返還されましたが、これまで長期間、ごみの違法投棄や野良犬、野良猫が闊歩する島でした。

平成17年3月に「エアウェイリゾート豊見城」として沖振法に基づく観光振興地域に指定され、これを機に、前市長時代に民間企業を誘致し開発を進めることになりました。前市長と私がバトンタッチする頃に、開発計画案の企画コンペを行いWBF社が選ばれました。その後、市とよく連携し、素晴らしいホテルを開業してくださいました。

また、沖縄総合事務局財務部との連携で、国有地を購入できた点も大きく、加えて、沖縄振興特別推進交付金制度が創設され、それを活用して

「瀬長島観光拠点整備計画」を策定し、更なる整備を進めています。

### 瀬長島観光拠点計画

【安藤】瀬長島観光拠点整備計画について、詳しく教えてください。

【宜保】計画策定の際、検討委員会から「瀬長島の自然を活かしつつ、民間活力とのバランスのとれた開発をすべき」という意見がありました。基本方針として、①瀬長島ならではの景観資源・観光資源を生かす、②県民が瀬長島にもつ愛着、イメージを大切にする、③快適で美しい環境づくりのため基盤施設を適切に整備する、の3点が定められ、キャッチフレーズは「隣の楽園」、コンセプトは「沖縄の風土とアメリカ世テイストのコンビネーション」です。今は計画が順調に具体化している最中です。

### なぜ温泉なのか

【安藤】そもそも、なぜ瀬長島で温泉ホテルを始めようとお考えになったのでしょうか。

【兼城社長】創業者で先代社長の近藤が「ここで温泉に入ったら、これほどの幸せはない。露天風呂に浸かり、海とサンセットを見る、これ以上の環境はない」と思ったことがきっかけです。最初はホテルを作ることより、まず温泉をつくろう、から始まったのですが、立地の素晴らしさ、無人島で開発されていないこと、那覇空港に近いこと、なにより都市近郊でこれ程の絶景があること、これが一番大きかったと思います。

【安藤】計画実現には様々な困難もあったと聞きます。

【兼城】開発にあたって時間はかかりましたが、市も当社も想いは同じで、豊見城市のご協力があつてこそ、実現できたと思います。

瀬長島は、恋、歴史、神の島と言われる、豊見城発祥の地でもあります。この島を私ども民間が開発しているのか、との遠慮はありましたが、市民説明会の開催などで市には大変にご尽力頂きました。特に難しかった点は、島が市街化調整区域であり、単なるホテル建設では開発許可を得ることが大変でした。しかし、まずは温泉を

掘ってみよう、開発許可が下りることを前提に、まずは掘ってみよう」と申請しました。時間はかかりましたが、温泉施設としての開発許可を得ることができました。資金調達時の金融機関への説明にも苦労しました。空港の騒音問題、沖縄には温泉文化がなく集客が見込めるか、に対する説明で苦労しました。

【安藤】温泉を掘り当てることも大変だったのではないですか。

【兼城】沖縄を含め日本列島は火山帯が通り、立地、掘削深度で泉質は変わるものの、掘れば温泉は出るようです。島で一番いい場所を選び今の場所になりました。

## 他の県内リゾートホテルとの違いとは

【安藤】県内の他のリゾートとはセールスポイントがだいぶ違うと伺いました。

【兼城】県内リゾートは、恩納村を典型とするハワイ風リゾートのイメージがありますが、沖縄側から見るとリゾートのあり方と、県外客が求めるものでは異なる点があり、そこが十分に反映されていないと感じます。具体的には、まず温泉です。沖縄の人にも県外旅行の時には露天風呂がついた部屋を選びます。多くの外国人観

光客にとって日本旅行の3大目的は、食事、ショッピング、温泉です。県内にも温泉運営をするホテルはありますが、温泉をメインにしたホテルはありません。ここが最も大きな相違点だと思います。

## ウミカジテラスは屋台村？

【安藤】ホテルに隣接する「ウミカジテラス」は、市長の一言から始まったと聞きました。

【宣保】商工会活動をしていた頃から「瀬長島に屋台村があったらいいね」という意見がありました。市長就任後、鹿児島出張で「かごつまふろさと屋台村」を視察し、ふれあいを大事するには屋台村だな、との思いを強くし、近藤前社長と兼城社長に「鹿児島屋台村をぜひ見てください」と勧めました。その後の話は兼城社長から詳しくどうぞ。

【兼城】すぐに鹿児島に飛び「かごつまふろさと屋台村」成功の秘訣を調べました。各テナントが協力して村長を選び、お客様の奪い合いではなく、自店に加え他店にも寄って頂く、いわゆる「はしご」の仕組みなど協働のまちづくりに感銘しました。偶然ですが、企画会社の代表の方がWBF主催旅行のヘヴィユーザーとの御縁にも驚きました。そのため一

層親身に企画してもらい、「ウミカジテラス」は夜だけでなく、昼から賑わう明るいおしゃれな「地中海風の商業施設」に仕上げました。一体感のある運営にするため、テナント様が会員になる仕組みとして一般社団法人「瀬長島ツーリズム協会」を立上げました。テナントの選考は、共にまちづくりをする志のあるものを公募し、200社の説明会参加を得て、書類選考、1次面接を経て、最終選考では市長ほか外部審査員10名による「料理の鉄人」風の試食会、販売物品のプレゼンを開催し、最終的に35店を選考しました。



ウミカジテラス（海風テラス）

【安藤】飲食店や土産物店以外にも、おもしろい施設がありますね。

【兼城】各国空港の離着陸が疑似体感できる本格的なフライトシミュレーターがあります。実際のパイロット訓練でも使用されるもので、空港近くの立地条件も幸いし大人気です。

## 今後の事業展開

【安藤】今後の事業展開についてどのようにお考えですか。

【宣保】島の景観は大事ですが利便性も重要です。国道整備で沖縄総合事務局に尽力いただいています。市としても道路整備や交通渋滞の解消にしっかりと取り組み、瀬長島の魅力を発信します。また、瀬長島では、今後も更なる民間活力が期待できるような模索している状況です。ビーチ付近では簡易シャワーの設置に取り組みます。

【兼城】ウミカジテラスにはまだまだ余剰スペースがあり、現在34棟ですが50棟まで増やし、来年中の開業を目指します。ホテル別館（100室）も計画中です。温泉は地元客で盛況ですが、宿泊客がゆつたりと入れる温泉も欲しい。別館は屋上に宿泊客専用の露天風呂を設け、第二滑走路ができ東京オリンピックが開催される2020年までの完成を目指します。



## お勧めは夜景とイベント

【**宜保**】ホテルの西側の部屋はオーシャンビュー、東側は空港が見えると聞きます。リゾートホテルは海側から埋まることが常識ですが、空港側の部屋も人気ようです。

【**兼城**】リピーターほど空港側の部屋を希望します。海側は夜は真っ暗ですが、空港側は夜景が美しく、完全防音された部屋から眺める飛行機の離発着は最高です。

瀬長島は民家のない無人島だったのでイベントにつきものの苦情がありません。イベントを積極的に誘致します。サークラステントを常設し、誰でも理解できるノンバーバル（せりふのない身振りが中心の）演劇や遊園地などカーニバルのイメージに近いものを構想しています。

【**宜保**】行政の役割ではインフラ整備が重要です。一周道路・海中道路の再整備、電線地中化、駐車場整備等を平成28年度中の完了に向けて取り組んでいます。市が購入した国有地（約1万4千㎡）は「ウミカジテラス」の正面に位置しイベント開催の最適地です。市としても民間イベントを誘致し、市民に喜ばれる賑わいを提供します。今年は県内外の選手を対象にウインドサーフィン大会を開催し、一括交付金を活用して支援します。



瀬長島全景

## 子宝岩は少子化対策？

【**宜保**】住民から詳細な聞き取り調査等を行い、以前から念願の「子宝岩」をかつての姿かたちで忠実に復元しました。子宝岩には2つの穴があり、上の穴に小石を投げ入れると男児が、下の穴では女兒が授かるとの伝説があります。地元マモデルの中沢初絵さんから「石を投げ入れた姪が子供を授かった」と聞きました。

【**安藤**】地方創生や少子化対策にもつながりそうな伝説ですね。

【**兼城**】温泉の泉質を調べたら子宝を授かりやすいと聞きました。不思議

なものでホテルのテナント様に勤めている女性スタッフで温泉に浸かり子宝を授かる方もいらっしゃるそうです。

【**安藤**】通常の温泉は中高年をイメージしますが、利用者の年齢層はいかがですか。

【**兼城**】若者の利用、特に家族連れの利用が目立ちますね。



子宝岩（こだからいわ）

## 課題と将来展望

【**安藤**】課題はありますか。

【**宜保**】市全体の交通網整備ですね。中心市街地、豊崎、瀬長島をいかに結ぶか検討が必要です。貴局南部国道事務所が瀬長島入口交差点を改良中で、渋滞解消を期待します。

【**兼城**】ホテル業は人材確保が課題です。正社員100人のうち半分が地元、半分が他県出身者、パート社員の大半は地元です。今後の地元採用を更に進めます。

【**宜保**】雇用増加はうれしい話です。他県出身者も居住すれば豊見城市民です。市長としては、「地方創生」の施策として今後4年間で次に掲げる事業を進めます。1点目は民間病院と連携して、再生医療、人工透析、総合健診を3本柱とする医療ツーリズム

の先進地を目指します。医療と温泉の相性は抜群です。ホテル等には、長期滞在する外国人富裕層向けのコンドミニアム機能を期待します。2点目は市役所新庁舎を核にした中心市街地整備事業を進めます。

【**兼城**】ホテルのコンドミニアム機能等について、私どもも御期待に添えるように頑張ります。

## 国有地の利活用で地方創生を

【**安藤**】豊見城市に売却した瀬長島の国有地の利活用が進み喜んでいきます。県内各地には、まだまだ、利活用が可能な国有地があります。地方創生の観点から是非、御相談ください。

【**宜保**】今後も、国有地の利活用ではどんどん相談しますよ。

【**安藤**】本日は、瀬長島を中心に色々聞かせていただきました。宜保市長、兼城社長、お忙しい中ありがとうございます。

（完）